

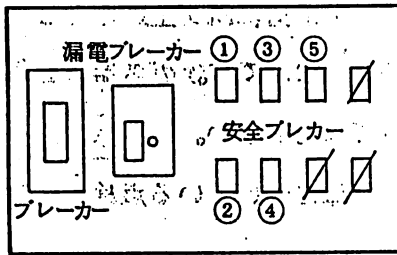
□ コープ野村南流山貳番街 □

住まいの手引補充事項

□ 電気設備

(1) 契約容量及び回路について

- 契約容量 30A (50A まで変更可能)
- 安全ブレーカーの分電盤



- ① 20A 洋室(1)(2), 納戸, 玄関
- ② 20A 居間, 台所, 食堂
- ③ 20A 洗面所, 浴室, 便所, 和室
- ④ 20A 冷蔵庫用コンセント
- ⑤ 20A クーラー用コンセント(200V)

(注) 入居後、電気使用開始時には、ブレーカーに掛けてある「電気使用開始通知書」に、入居日・マンション名・住戸番号・氏名等を記入の上、郵便ポストに投函下さい。

- 漏電ブレーカーは月1回のテストを

(注) 漏電ブレーカーには、テストボタンがついていますので、月に1回程度の作動確認をして下さい。確認の方法は、赤いボタンを押して漏電ブレーカーが落ちましたら正常作動です。もとにもどす際には、黄色ボタンを押し込んでから漏電ブレーカーをあげて下さい。

□ 浴室

- 追焚きは、必ず満水時に行ってください。から焚きは、器具故障の原因となります。浴槽に湯水が入っていない時は、追焚用コックは必ず閉

るの方向に回しておいて下さい。

□ 換気扇

- 換気扇は浴室と便所が同時に作動する親子扇です。換気扇のスイッチは、約2分以上使用した場合、スイッチを切っても換気扇は動作を続け約3分遅れて切れるようになっています。

□ ガス設備

- ガスのカロリー数は $10,400\text{Kcal}/\text{m}^3$ 、12Aです。ガス器具を使用なさる時は、必ずカロリーを確かめてからご利用下さい。
- 台所のガス漏れ警報器は、月1回、本体についている点検ガスでテストして下さい。

□ 暖房・給湯設備 (TES)

当設備は、省エネルギー機器で、給湯優先のシステムとなっておりますので、ご注意下さい。(多大な熱量を使用しないようなシステムとなっております)。

(注) ● 暖房中に給湯すると、その間、暖房が一時停止します。また、風呂の追焚きは暖房と同時使用できますが、給湯しながら風呂の追焚きはできません。

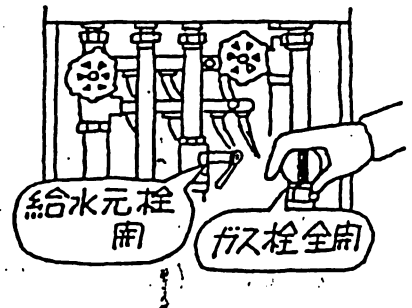
● 2ヶ所以上で同時使用すると、湯温が変わり、お望みの湯温が出にくくなりますので、できるだけ同時使用は避けてください。

(1) 使用方法

① はじめに

- 給水元栓、ガス栓を開けて下さい。
- 電源スイッチを「入」にして下さい。電源灯が点灯します。

(注) ● 補給水タンクの水が給水面レベル内にあることを確認して下さい。



(注) ● 初めてご使用になる時や、長期間運転を休止されたあとは、運転スイッチを「入」にしても燃焼を開始せず警報灯が点灯することがあります。これはガス管の中に空気が入っているためですから、運転スイッチの「入」「切」を2～3回くり返して下さい。

② 点火方法

● 暖房・給湯及び追焚きをするとき

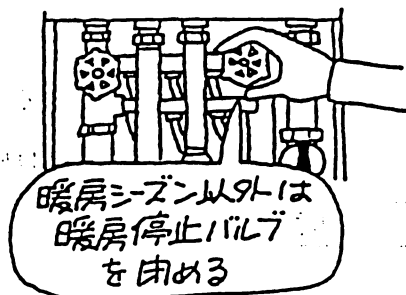
- ① 暖房停止バルブを開けて、放熱器の運転スイッチを「入」にして下さい。

② 運転切換スイッチを「暖房・給湯・バスヒータ」の方にして下さい。

③ 運転スイッチを「入」にしてください。約10秒後にメインバーナに着火し、運転（燃焼）灯が点灯しますから、本体の燃焼確認窓から燃焼炎を確認して下さい。

④ 着火2分位後に放熱器やヒーティングバスに温水が流れていることを確認して下さい。

(注) 暖房シーズン以外は暖房停止バルブを閉めておいて下さい。



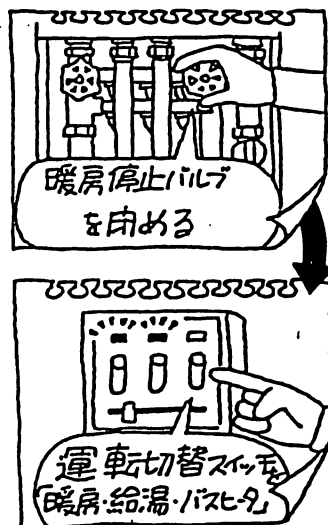
● 給湯のみ使用のとき

① 運転切換スイッチを「給湯・リモコン暖房」の方に入れて下さい。

② 運転スイッチを「入」にして下さい。約10秒後にメインバーナに着火し、運転（燃焼）灯が点灯しますから、本体の燃焼確認窓から燃焼炎を確認して下さい。

③ しばらく給湯を続けると、湯温が安定してきます。能力調節つまみを「大」にすると熱く「小」にするとぬるくなります。

(注) ● 暖房せずに風呂の追焚きと給湯を使用するときは、暖房停止バルブを閉めて運転切換スイッチを「暖房・給湯・バスヒータ」に入れて下さい。



(注)● シャワーや混合水栓をご使用のときの湯温調節は、給湯栓で調節してください。それでも熱いときには給水栓を徐々に開けて水を混合して調節して下さい。

(注)● 配管が長いと、湯温が安定するまでに多少時間がかかります。

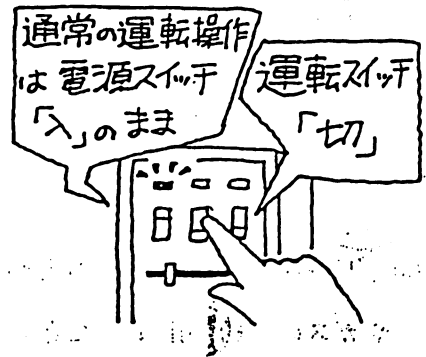
(注)● 暖房運転中に給湯を使用すると、最初は高温の湯が出ますが、しばらくすれば湯温は安定します。

④ 消 火

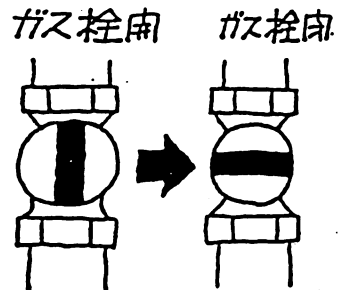
① 運転スイッチを「切」にして下さい。燃焼が止まり、運転（燃焼）灯が消灯します。

② 電源スイッチを「切」して下さい。

(注)● 通常の運転操作は運転スイッチの「入」「切」で行って下さい。



(注)● 長期間ご使用にならない場合は、本体下部のガス栓と給水元栓を閉めてください。

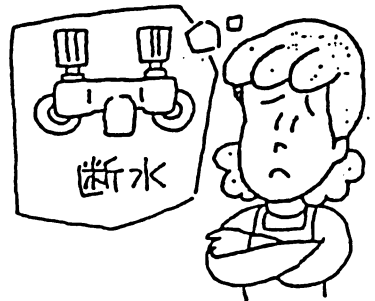


(2) 使用上の注意

- ① 停電すると自動的にガス弁が閉まり、給湯・暖房とも停止しますが、電源スイッチを一旦「切」にしてください。



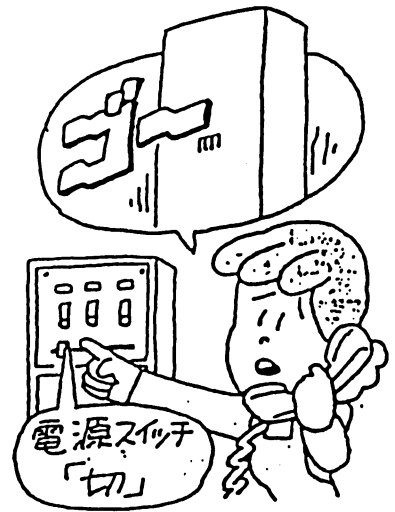
- ② 断水しても、暖房はそのまま使用できますが、給湯は使用できなくなります。



- ③ 万一使用中にバーナの火が消えた場合やガスの供給が止まったときには、安全装置が自動的に働いて、電磁弁が閉まります。



- ④ メインバーナ着火時や使用中に、燃えかたがおかしかったり音をたてているときには、電源スイッチを切り、京和ガスへご連絡下さい。



- ⑤ 暖房往管・暖房戻管のバルブや配管露出部などの表面は高温(60~90℃)になっていますので、さわらないようご注意ください。



- ⑥ 朝一番のお湯を飲用にお使いになるときは、水が熱くなるまで待ってご使用下さい。ぬるい間は飲用には向きません。

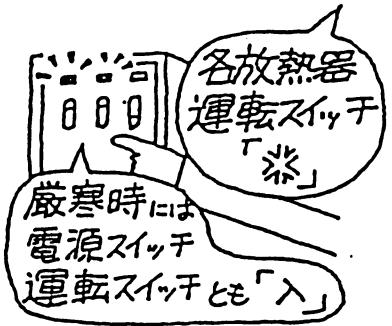


(3) 凍結防止のために

特に寒い時期に運転を休止するときは次の操作をしてください。

① 暖房用水

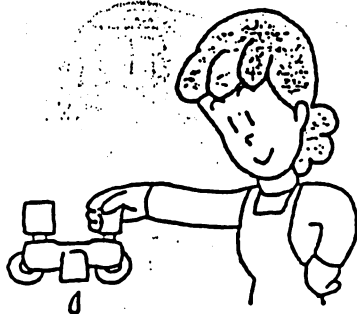
各部屋の放熱器の運転スイッチを「*」
(スノーマーク)に合わせ、コントロール
ボックスの電源スイッチのみを「入」
としてください。気温が下がるとポンプ
が自動的に運転し凍結を防ぎます。特に
冷え込みの厳しい時には運転スイッチも「入」にしてください。



② 給湯用水

給湯栓 1 カ所を少し開け水を流して下さい。

(注) ● 冬期に長期間運転を休止するとき
は給水元栓を閉め、給湯水抜栓、各給
湯栓から水を抜いてください。



(4) **放熱器**

- ① 温水循環時には前面パネルが熱くなっていますので、直接手などを触れないように注意して下さい。

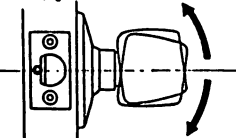
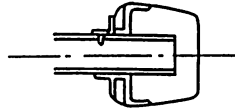
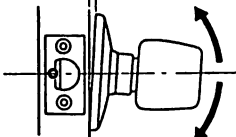
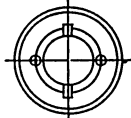
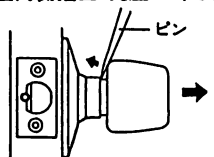
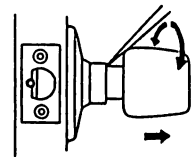
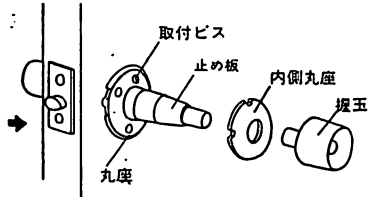


- ② 凍結のおそれのある場合、暖房開閉レバーを「*」スノーマークに合わせて下さい。
- ③ ラジファンパネルに洗たく物をかけたり、吹出口近くに障害物を置くと、室内が均一に暖まらないだけでなく、ラジファンパネル本体に悪影響もおよぼしますので、絶対にやめて下さい。

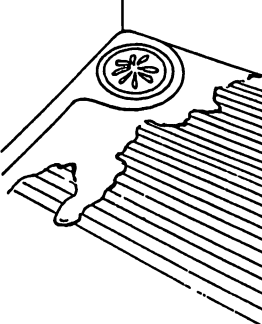
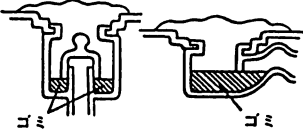

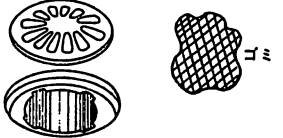
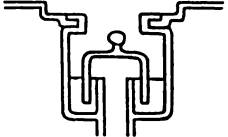
- ④ 本体にすがったり、ぶらさがったりして無理な力を加えないで下さい。故障や事故の原因となります。



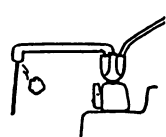
3 錠前について

状 態	原 因	処 理
<p>● 丸座はガッチリ扉に取り付いているが握玉がガタつく。</p> 	<p>● 握玉の止め板がはずれている。</p>	<p>● 握玉の止め板がはずれていないか確認してください。はずれている場合は正しくはめ込んでください。</p> 
<p>● 丸座と扉の間にすき間ができて丸座がガタつく。</p> 	<p>● 丸座裏板の取付ネジがゆるんでいる。</p>	<p>● 丸座をはずして丸座裏板の取付ネジがゆるんでいないか確認してください。</p> 
<p>■ 浴室内側握玉・丸座の外し方</p>  <p>① 握玉の握止め板を先のとがったピン又は突棒で強く押し込む。</p>  <p>② 強く押し込むと同時に握玉をかるく左右に回しながら手前に引張って外してください。</p>  <p>③ 丸座をストッパー用穴から突棒でバランスをとりながら引張ってとり外してください。</p>		


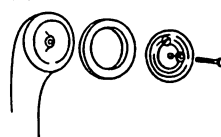
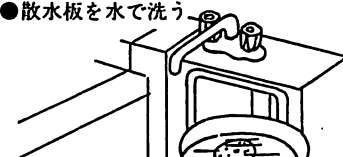
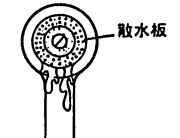


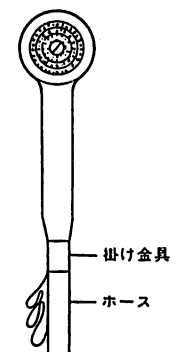
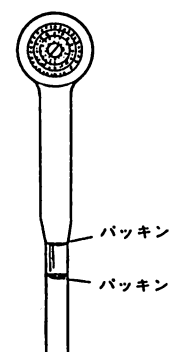
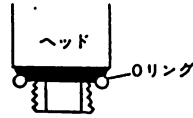

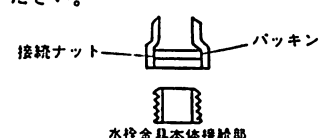
4 排水について

状 態	原 因	処 理
<p>● 排水トラップが詰まる。</p> 	<p>● 毛髪・ゴミが詰まっている。</p>  <p>● ベルが正常に置かれていない。(下出しトラップの場合)</p> 	<p>● 目皿を取りはずしゴミを取ってください。</p>  <p>● ベルを正常位置に戻してください。</p> 

1 水栓について

状 態	原 因	処 理
<ul style="list-style-type: none"> ●湯(水)が止まりにくくな った時 ●シャワー及び吐水の切替 え不良 ●蛇口の水の流れが不自然 	<ul style="list-style-type: none"> ●パッキンの摩耗 ●切替え弁内のOリングの故障 ●吐水口部の目づまり 	<ul style="list-style-type: none"> ●裏表紙のアフターサービスご連絡先 へご相談ください。 ●同上 ●細い棒で吐水口を つついてゴミを取 ってください。 

2 シャワーについて

状 態	原 因	処 理
<ul style="list-style-type: none"> ●水が噴出しな場合 	<ul style="list-style-type: none"> ●散水板のよごれ 	<ul style="list-style-type: none"> ●散水板を水で洗う 
<ul style="list-style-type: none"> ●散水板から水が漏れる場 合 	<ul style="list-style-type: none"> ●散水板・化粧リング・化粧リ ングパッキンのよごれ 	<ul style="list-style-type: none"> ●散水板・化粧リングパッキン・化粧 リングを水で洗い、セットしなおす。 
<ul style="list-style-type: none"> ●シャワーホースから水が 漏れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●パッキンがずれている。腐蝕し ている。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)ヘッドとホー スをはずして ください。  (2)ホースの掛け金具を下にずらしてく ださい。  (3)ホースと水栓金具本体をはずしてく ださい。 



26

25

25

25

25

25

サービス
窓口
に
連絡
くだ
さい

26

22

23

23